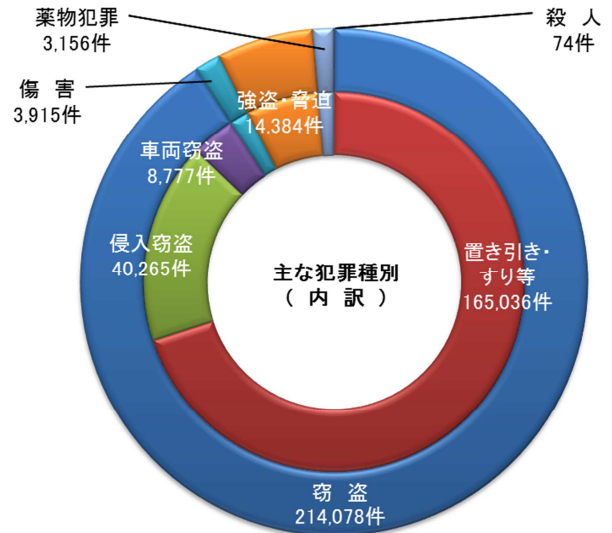


1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪発生状況

スペイン内務省の犯罪発生件数報告（暫定版）によれば、スペイン国内での総犯罪発生件数（1月～3月）は503,671件と、前年に比べ1.6%の増加となっており、依然として高い水準で推移している。侵入窃盗及び薬物犯罪は増加傾向にある。犯罪種別の内訳は以下のとおり。※（ ）内は前年比

殺人：74件(-6.3%)、強盗・脅迫：14,384件(-7.1%)、傷害：3,915件(-1.0%)、窃盗(置き引き・すり等)：165,036件(-2.0%)、窃盗(侵入窃盗)：40,265件(+1.6%)、窃盗(車両窃盗)：8,777件(-19.7%)、薬物犯罪：3,156件(+4.8%)



(2) 邦人被害発生状況

当館及びバルセロナ総領事館が認知したスペイン国内での今期邦人犯罪被害件数は115件で、前期121件に比し減少、前年同期99件に比し増加した。

被害内訳は、引き続き、スリ（64件）及び置き引き（36件）が大部分を占めている。凶悪犯罪は減少傾向にあるものの、深刻な失業問題等を背景に犯罪が増加・凶悪化する可能性があり、注視が必要である。

(3) 邦人被害事案

- ・1月上旬、女性旅行者がホテル内の朝食会場にて、食事をとりに席を立った際に、いすにかけていた鞆を置き引きされた。
- ・3月上旬、男性旅行者がバラハス空港から駐車場へ移動中に鞆から貴重品類が抜き取られていることに気がついた。
- ・3月下旬、女性旅行者がマヨール広場を散策中に腰に巻いていたウエストポーチから貴重品類を抜き取られた。
- ・ホテルでのチェックイン手続き中、レンタカーの手続き中、或いはレストラン等での飲食中、足下や座席に置いた鞆を置き引きされた。（多数）
- ・交通機関での移動中、買い物中或いは歩行中、気付かない間に鞆から旅券・財布等を抜き取られた。（多数）

※その他の邦人被害例については、当館 HP「安全対策—過去1ヶ月間の主要な邦人被害例」参照。

## 2 テロ・爆弾事件発生状況

2004年にマドリードで同時多発列車爆破テロ事件が、2017年8月にバルセロナ等で車両による通行人襲撃事件が発生している。これらの事件以外にも、テロ計画が準備段階で摘発されたり、紛争地域向け戦闘員の勧誘や派遣が摘発される等、依然として国内での活動が確認されている。

スペイン内務省は、テロ警戒のレベルを「4（高い脅威）」（全5段階）と評価しており、スペイン治安当局によるテロ警戒及び治安強化が継続されている。

## 3 誘拐・脅迫事件発生状況

当館及びバルセロナ総領事館として、邦人被害の事件は認知していない。

## 4 日本企業の安全に関する諸問題

当館及びバルセロナ総領事館として、認知していない。